

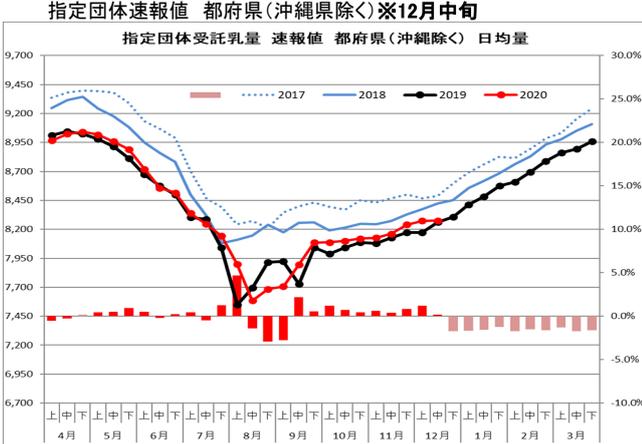
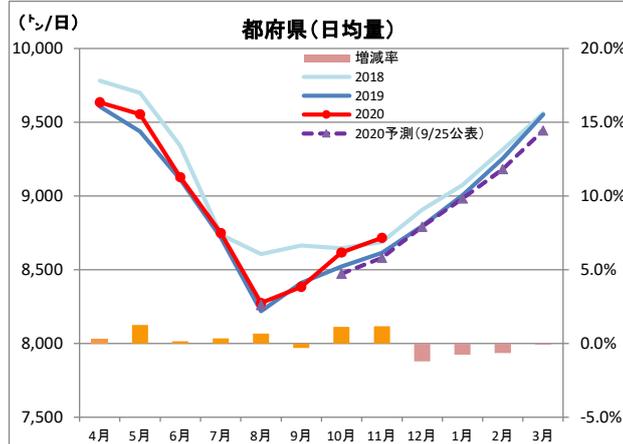
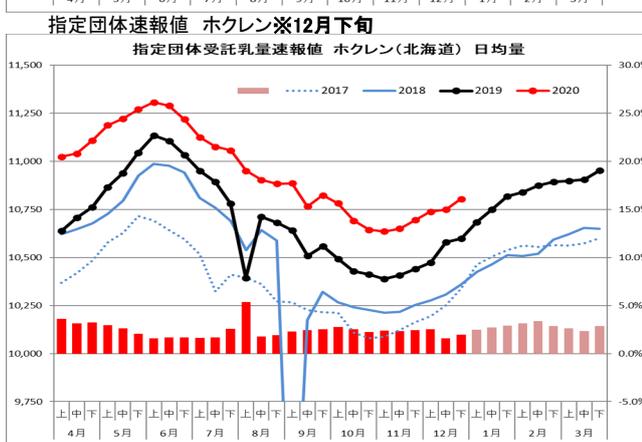
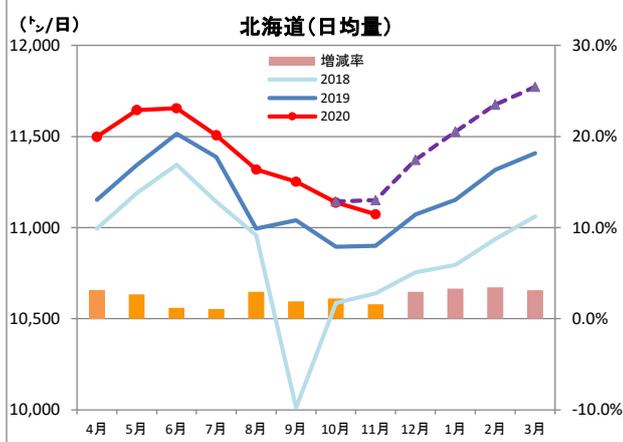
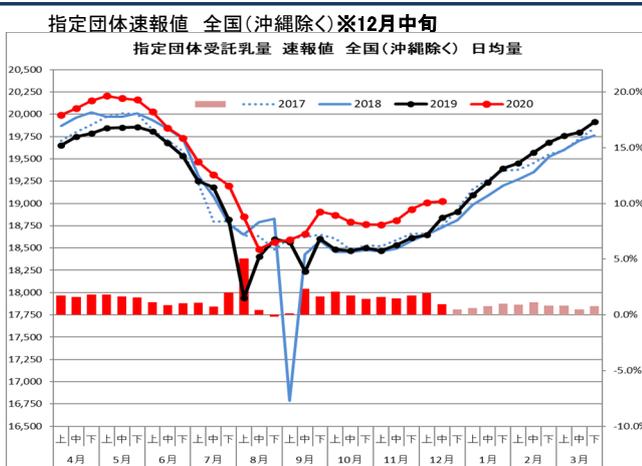
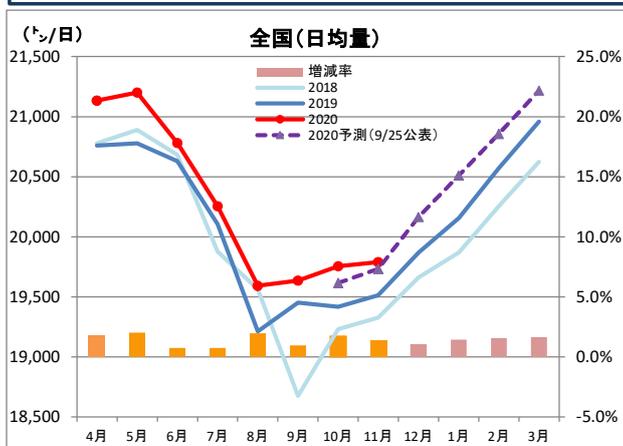
Jミルクが2020年9月25日に公表した「需給見通し(※2020年7月迄実績)」の予測値とその後の実績をグラフ化しています。毎月25日の「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も随時、配信していきます。発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《不透明な点が多い今後の生乳需給～今後の生乳需給について～》

- ・11月の需給実績について、生乳生産量は全国的に堅調に推移したものの、飲用需要については前年を若干下回った。また、脱脂粉乳・バター出回り量については前年を下回って推移している(脱脂粉乳の出回り量には、国による飼料用等への活用対策も含まれている)。
- ・なお、年末年始(12/28週)の牛乳やヨーグルト(大容量タイプ)の家庭内消費が、前週(12/21週)より伸び率が拡大しており、また、家庭用バターについても需要期のピークは過ぎたものの、伸び率が大きく拡大したことから、一定以上の巣籠需要があったものと考えられる。
- ・なお、新型コロナウイルスの感染拡大によって、首都圏(1都3県)では本日緊急事態宣言が発令されたところであり、飲食店へのさらなる時短要請等によって業務用需要がより一層厳しさを増すものと考えられる。一方、家庭内消費については、巣籠需要が増加する可能性があるものの、今後の消費動向は不透明な点が多く、引き続き状況を注視してゆく必要がある。

【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。

- (1) 11月の生乳生産量は、全国594千ト(前年同月比101.4%)、北海道332千ト(同101.6%)、都府県261千ト(同101.2%)。
- (2) Jミルク予測値(全国:592千ト、北海道:335千ト、都府県257千ト)から全国・都府県は上振れて推移している。
- (3) 直近の指定団体速報値によると、全国が同101.0%(12月中旬)、北海道が同101.9%(12月下旬)、都府県(沖縄除く)が同100.2%(12月中旬)。



**【牛乳等生産量】※増減率は、日均量で算出。**

(1) 11月の牛乳等生産量は、牛乳268千kl(前年同月比101.4%)、成分調整牛乳22千kl(同97.4%)、加工乳10千kl(同93.4%)、乳飲料83千kl(同93.8%)となり、牛乳類合計では383千kl(同99.2%)となった。

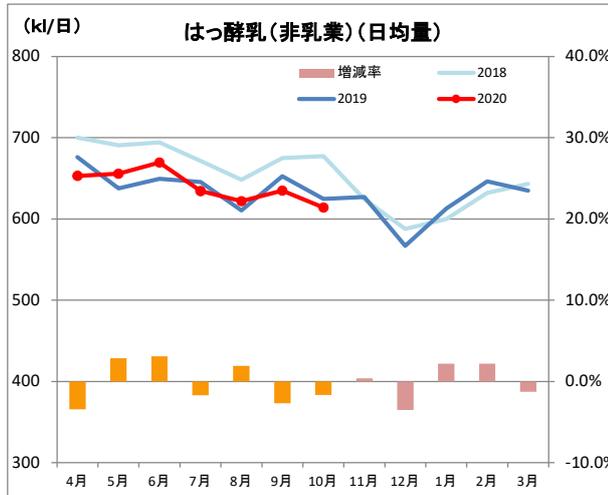
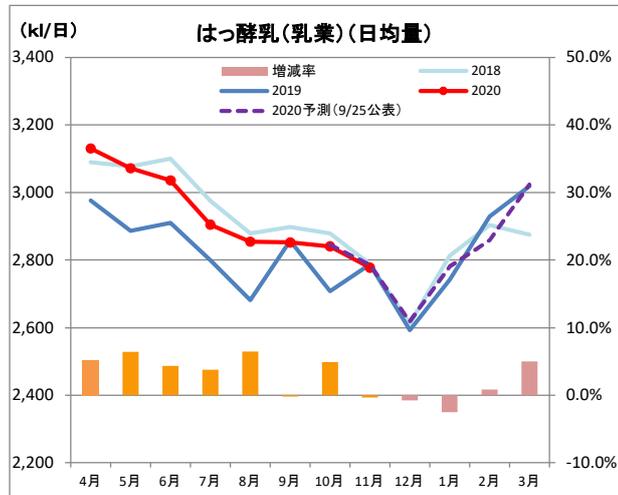
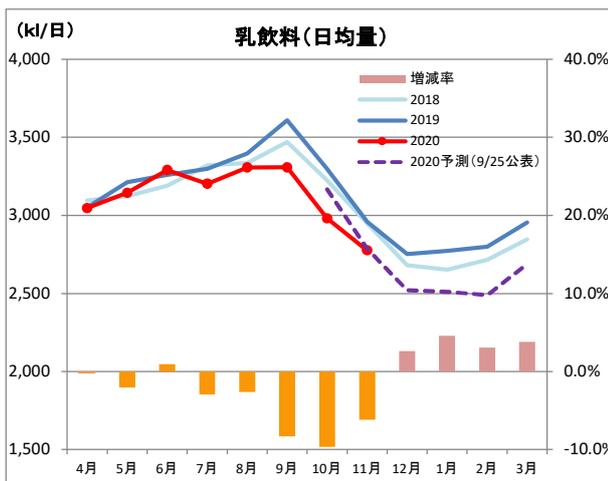
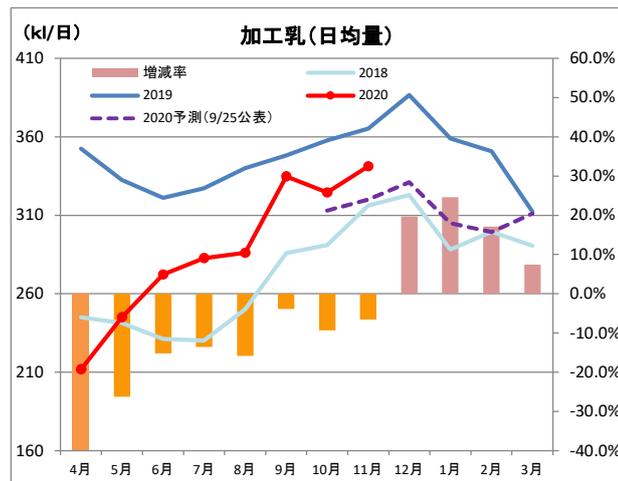
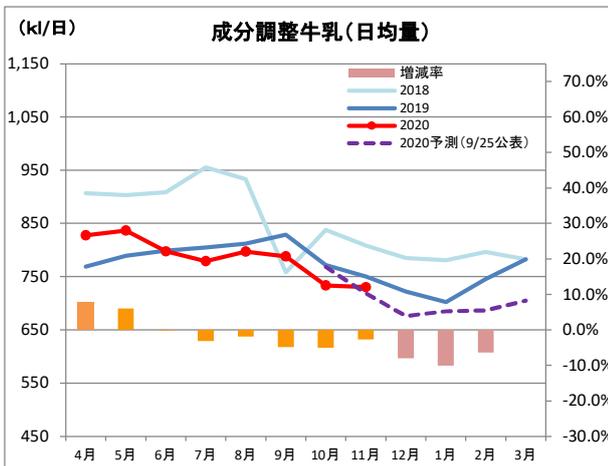
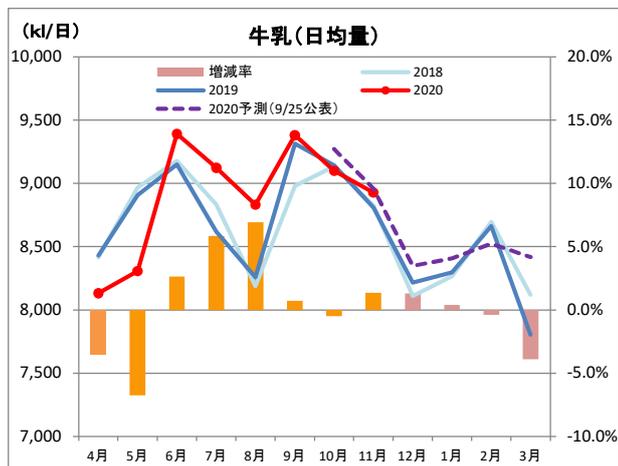
なお、予測値との比較では、加工乳は上振れして推移している。

(2) 「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同102.3%と再び前年を上回り、「業務用」は同97.7%と引き続き前年を下回っているものの、減少幅は縮小した。

(3) はっ酵乳(乳業)は83千kl(同99.6%)と前年をやや下回った。非乳業実績(10月)については同103.7%と前年を上回った。

なお、はっ酵乳(乳業)は、予測値(84kl)と同程度で推移している。

※はっ酵乳(非乳業)資料：(一社)食品需給研究センター「食品製造業の生産動向」

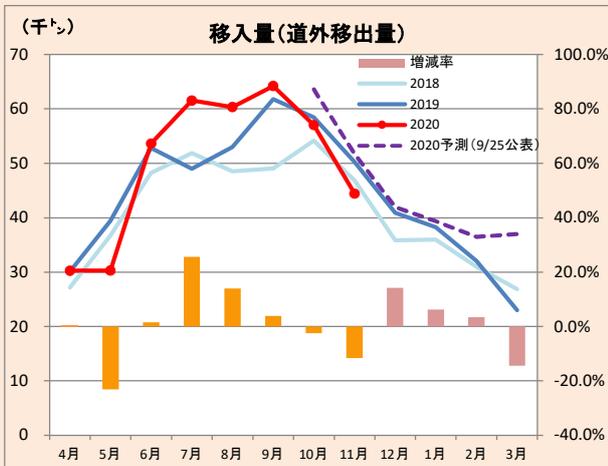
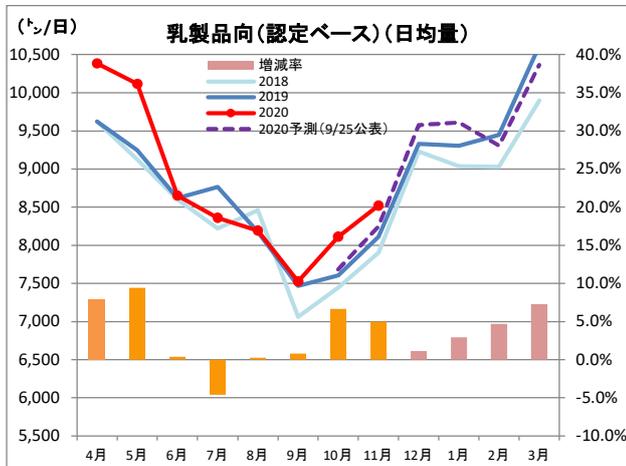
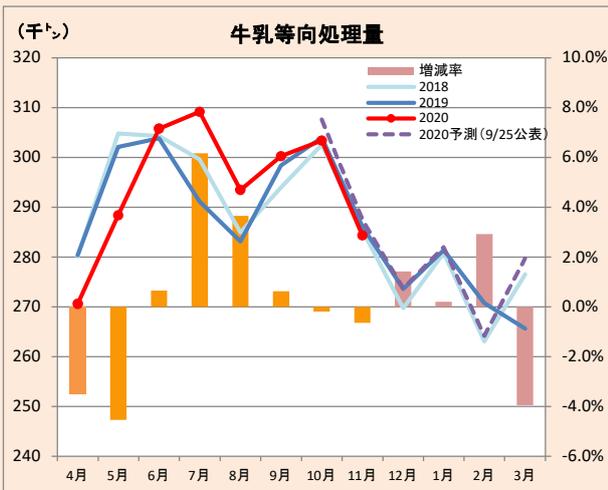
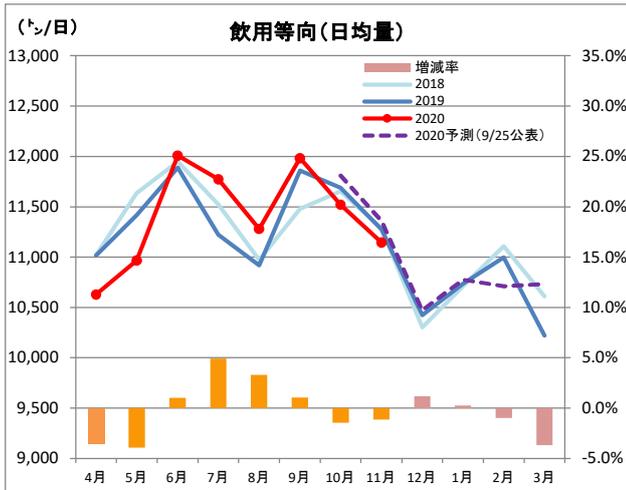
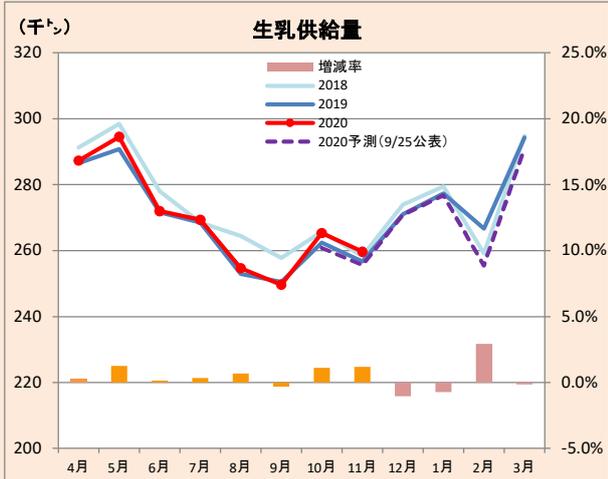
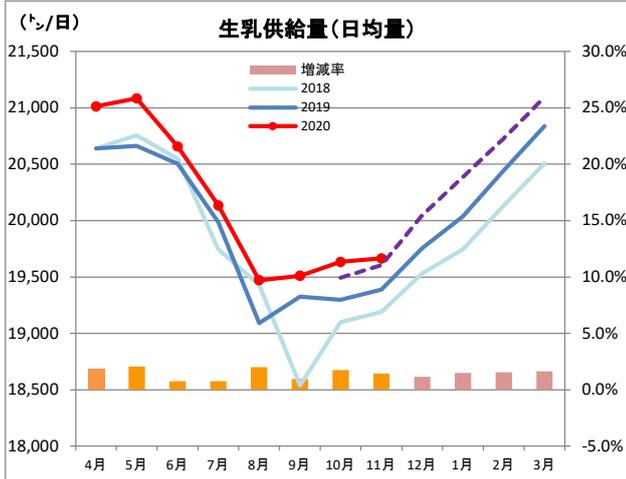


**【用途別処理量】 ※増減率は、日均量で算出。**

(1) 11月の生乳供給量は590千トン(前年同月比101.4%)、飲用等向334千トン(同98.8%)、乳製品向(認定ベース)256千トン(同105.0%)。  
 (2) 予測値との比較では、生乳供給量(予測値:588千トン)は若干上振れ、飲用等向(予測値:341千トン)は下振れ、乳製品向(予測値:247千トン)は上振れで推移している。

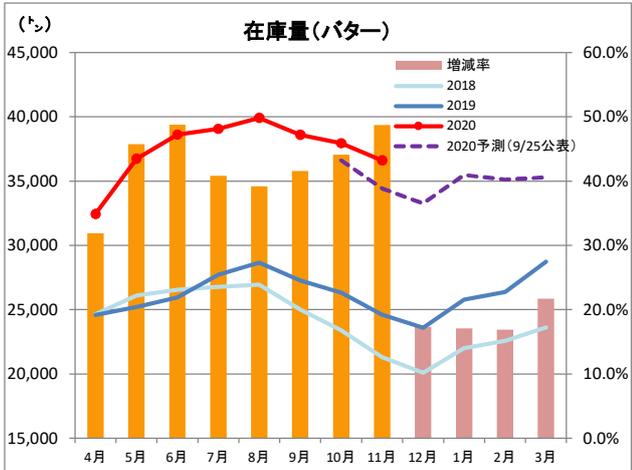
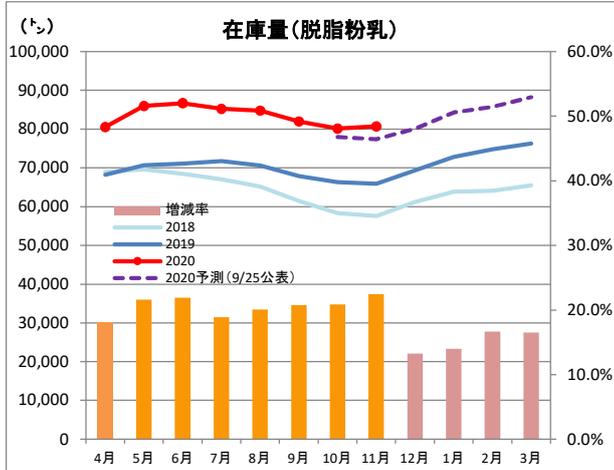
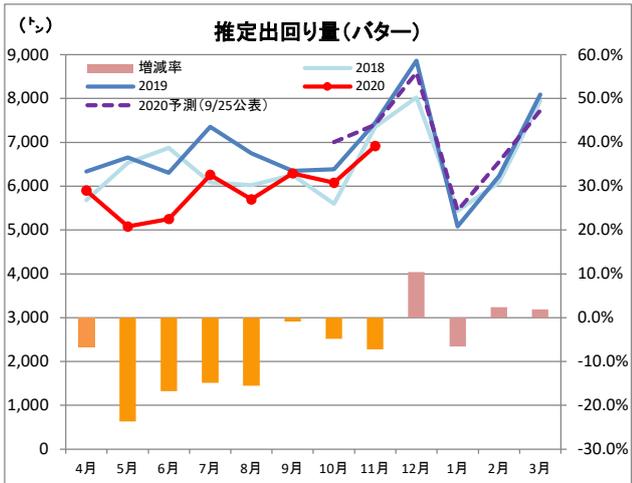
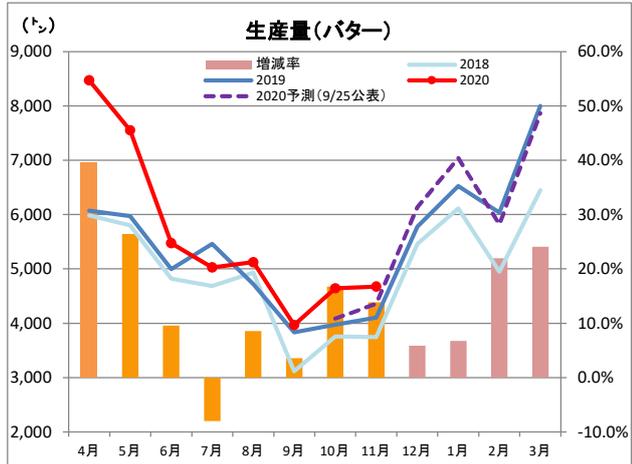
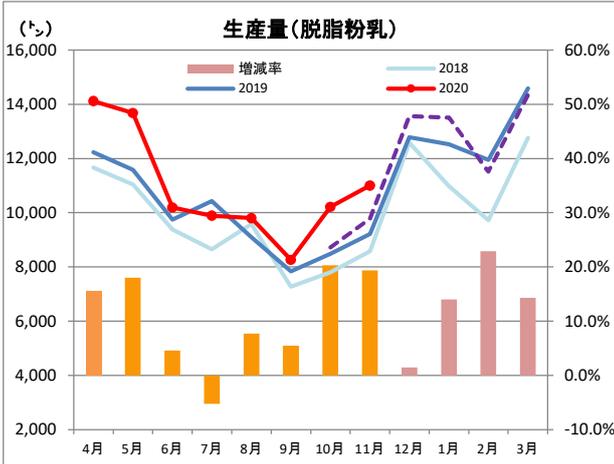
**【都府県の生乳需給】 ※増減率は、日均量で算出。**

(1) 11月は、生乳供給量260千トン(前年同月比101.2%)、牛乳等向284千トン(同99.4%)。  
 (2) 北海道からの移入量について、44千トン(同88.4%)と前年を下回った。  
 (3) 予測値との比較では、生乳供給量(予測値:256千トン)は上振れ、牛乳等向(予測値:288千トン)、北海道からの移入量(予測値:52千トン)は下振れで推移している。



**【脱脂粉乳・バター之需給】 ※増減率は、日均量で算出。**

- (1) 脱脂粉乳は、11月の生産量は11.0千ト(前年同月比119.4%)、推定出回り量は10.5千ト(同99.4%)、その結果、在庫量は80.7千ト(同122.5%)。推定出回り量(≒需要量)は前年を若干下回って推移している。  
 なお、予測値との比較では、生産量(予測値:9.8千ト)、在庫量(予測値:77.4千ト)は上振れで推移している。
- (2) バターは、11月の生産量は4.7千ト(同113.9%)、推定出回り量は6.9千ト(同92.8%)、その結果、在庫量は36.6千ト(同148.7%)。  
 推定出回り量(≒需要量)は前月より減少幅が拡大した。  
 なお、予測値との比較では、生産量(予測値:4.4千ト)、在庫量(予測値:34.4千ト)は上振れ、推定出回り量(予測値:7.4千ト)は下振れで推移している。



【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI】※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)11月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比105.2%、成分調整牛乳:同100.1%、加工乳:同93.2%、乳飲料:同95.3%。

**牛乳類では同102.9%と前年を上回った。**

・販売単価は、牛乳:189.5円、成分調整牛乳:173.1円、加工乳:186.0円、乳飲料:150.5円。

(2)直近の週次動向(表②・グラフ参照)

・直近(12/28週)の販売個数は、牛乳:前年同期比103.9%、成分調整牛乳:同99.3%、加工乳:同95.6%、乳飲料:同94.4%。

**牛乳類では同101.9%と前週(12/21週)より伸び率が拡大した。**

・販売単価は、牛乳:190.9円、成分調整牛乳:174.3円、加工乳:188.9円、乳飲料:152.3円。

・牛乳は伸び率が拡大し、例年より年末年始の販売個数は増加した。

※出典 (株)インテージSRI週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。**データ転用はご遠慮下さい。**

【表① 牛乳類の月別販売動向】

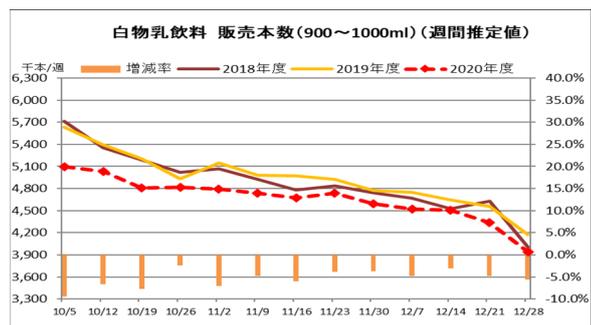
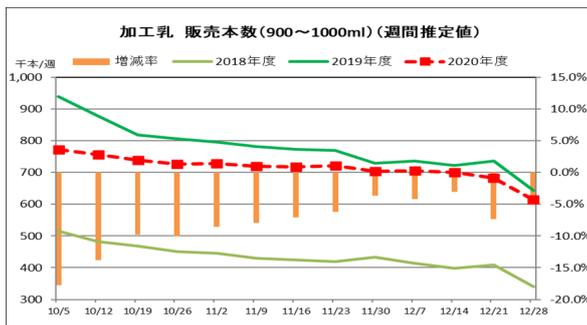
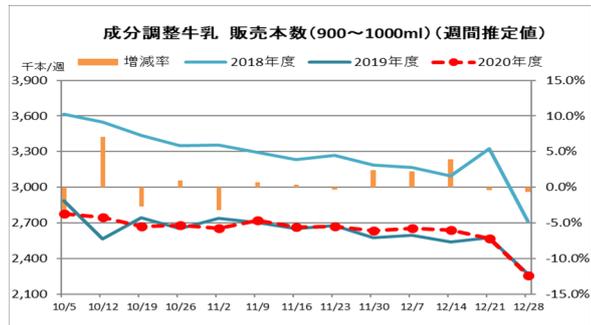
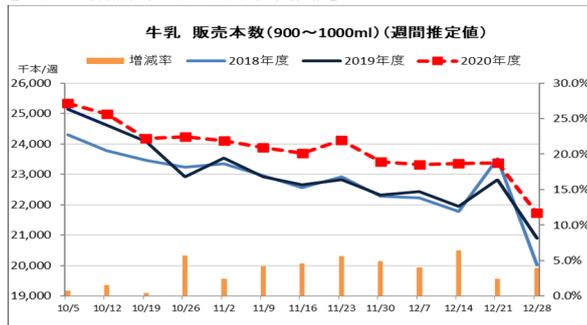
単位:千個/円

品目	区分	2020/1-	2020/2-	2020/3-	2020/4-	2020/5-	2020/6-	2020/7-	2020/8-	2020/9-	2020/10-	2020/11-
トータル	販売個数	130,706	130,783	148,892	157,820	170,377	157,603	156,578	168,143	153,360	146,755	137,970
	販売個数前年比	100.8	106.9	107.9	117.0	116.8	107.9	103.9	107.1	99.8	99.0	102.9
	販売単価	181.8	181.5	182.0	182.7	182.9	182.9	183.1	183.4	183.7	182.8	182.3
牛乳	販売個数	96,416	96,544	110,562	117,643	127,232	117,433	116,239	125,559	112,972	109,372	102,995
	販売個数前年比	101.4	107.7	109.1	119.2	119.1	110.1	105.8	109.0	101.1	101.1	105.2
	販売単価	189.4	189.1	189.3	189.9	190.3	190.3	190.7	190.9	191.8	190.2	189.5
成分調整牛乳	販売個数	11,016	11,040	12,526	13,231	13,978	12,662	12,597	13,197	12,509	12,018	11,502
	販売個数前年比	82.5	87.6	87.5	109.4	109.4	100.4	95.3	97.2	91.7	97.2	100.1
	販売単価	172.9	172.6	173.5	173.7	174.8	175.2	175.1	175.1	174.9	173.7	173.1
加工乳	販売個数	3,103	3,064	3,449	3,579	3,933	3,743	3,685	3,820	3,665	3,309	3,096
	販売個数前年比	178.0	188.6	189.0	108.3	102.7	98.4	93.1	96.9	92.3	85.5	93.2
	販売単価	182.7	182.1	182.9	184.3	181.3	180.4	181.6	184.7	183.3	186.5	186.0
乳飲料	販売個数	20,172	20,135	22,356	23,367	25,233	23,766	24,058	25,567	24,214	22,056	20,377
	販売個数前年比	103.7	109.5	108.8	112.5	111.3	103.3	101.7	105.4	99.7	92.5	95.3
	販売単価	149.9	150.0	150.4	150.9	150.8	150.7	150.8	150.4	150.6	150.6	150.5

【表② 牛乳類の販売動向(直近の週次動向)】

品目	区分	11.2-	11.9-	11.16-	11.23-	11.30-	12.7-	12.14-	12.21-	12.28-
トータル	販売個数	32,283	32,048	31,757	32,251	31,343	31,209	31,204	30,963	28,527
	販売個数前年比	100.2	102.1	102.2	103.3	103.1	102.3	104.5	100.9	101.9
	販売単価	182.5	182.2	182.7	182.4	182.2	182.2	182.3	183.1	184.2
牛乳	販売個数	24,113	23,873	23,703	24,121	23,411	23,325	23,358	23,376	21,723
	販売個数前年比	102.4	104.2	104.6	105.6	104.9	104.0	106.4	102.4	103.9
	販売単価	189.7	189.5	190.0	189.4	189.4	189.4	189.4	189.9	190.9
成分調整牛乳	販売個数	2,652	2,718	2,663	2,670	2,636	2,655	2,637	2,566	2,254
	販売個数前年比	96.8	100.7	100.4	99.7	102.4	102.2	103.9	99.6	99.3
	販売単価	173.7	172.6	173.1	173.5	172.7	172.2	172.3	173.4	174.3
加工乳	販売個数	728	719	718	721	703	706	701	683	615
	販売個数前年比	91.4	92.0	92.8	93.7	96.3	95.8	96.9	92.6	95.6
	販売単価	186.3	186.0	185.5	186.0	185.2	184.4	185.7	186.5	188.9
乳飲料	販売個数	4,790	4,739	4,673	4,739	4,593	4,523	4,508	4,338	3,936
	販売個数前年比	93.0	95.2	94.0	96.2	96.3	95.2	97.0	95.2	94.4
	販売単価	150.8	150.1	150.7	150.7	150.3	150.6	150.8	151.6	152.3

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



**【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績**

(1)直近の週次動向(表③参照)

直近(12/28週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%未満、個食タイプ(70~130ml):同100%未満、大容量タイプ(350~500ml):同100%以上。

(2)ドリンクタイプ・個食タイプは引き続き前年を下回って推移している。

【表③ ヨーグルト類の販売動向】

品目	11.2-	11.9-	11.16-	11.23-	11.30-	12.7-	12.14-	12.21-	12.28-
ドリンクタイプ	↓	↘	↘	↓	↘	↓	↓	↓	↓
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	↘	→	→	↘	→	↘	→	↘	→

 : 前年比90%未満	 : 前年比105%以上110%未満
 : 前年比90%以上100%未満	 : 前年比110%以上120%未満
 : 前年比100%以上105%未満	 : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

### 【家計支出の動向】

(1)牛乳乳製品の支出額について、伸び率は縮小傾向にあるものの、10月も引き続き前年を上回っている。  
 (2)中食、家庭内食における支出額は前年を上回っている。一方、外食は引き続き前年を下回っているものの、減少幅は縮小傾向にある。

※統計局家計調査（家庭内食は、食料-調理食品-外食で算出）

用途分類	区分	2020年										
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
牛乳乳製品	支出金額	2,914	3,053	3,389	3,523	3,645	3,300	3,286	3,366	3,223	3,142	
	前年同月比	100.2%	107.7%	110.7%	117.9%	113.7%	107.7%	105.9%	108.4%	102.8%	101.6%	
調理食品(中食)	支出金額	10,069	10,112	10,320	9,824	10,306	9,996	10,961	11,258	10,423	10,690	
	前年同月比	105.2%	110.5%	103.4%	99.7%	102.0%	103.5%	101.2%	102.5%	102.1%	102.3%	
外食	支出金額	13,224	11,467	9,307	4,646	5,988	8,184	9,429	10,172	9,975	11,025	
	前年同月比	107.2%	104.9%	69.9%	37.3%	44.8%	66.8%	74.3%	72.4%	80.1%	95.4%	
家庭内食	支出金額	48,075	50,630	56,522	57,906	59,844	55,698	54,685	58,887	55,316	53,999	
	前年同月比	98.6%	105.5%	108.3%	113.8%	113.6%	108.5%	107.7%	111.0%	104.7%	103.9%	

### 【家畜販売価格動向】

(1)12月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は778千円(前年同期比99.9%)、育成牛価格は408千円(同101.2%)、和牛素牛(去勢)価格は839千円(105.7%)、F1素牛(去勢)価格は470千円(同90.2%)、F1初生(雄)価格は142千円(57.1%)。  
 (2)上場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同98.3%、育成牛:同88.7%。また、和牛素牛(去勢):同95.5%は前年を下回ったが、F1初生(雄):同126.6%、F1素牛(去勢):同149.6%と前年を大きく上回った。

※ホクレン家畜市場集計表 速報値(<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)

